

まるやまかまやまいせき  
**13. 丸山釜山遺跡**

所在地：福井市丸山2丁目地係

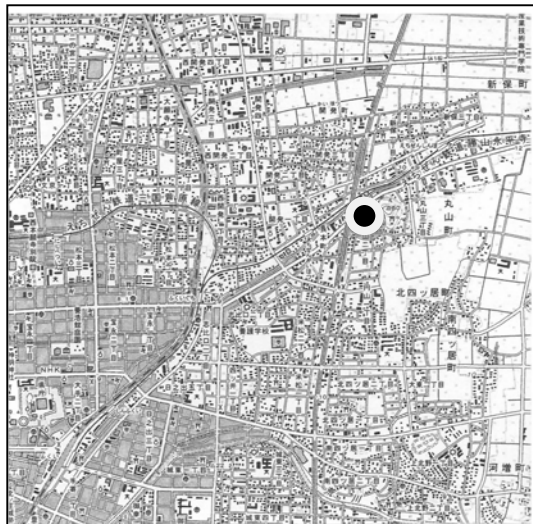
調査原因：民間開発

調査期間：平成27年9月10日～9月18日

調査主体：福井市文化財保護センター

調査面積：100 m<sup>2</sup>

時代：弥生・古墳



位置図 (S=1/50,000)

**調査の概要** 丸山釜山遺跡は、福井市街地東部にある独立丘陵の丸山の近くに位置します。

これまでの調査では弥生時代から古墳時代の遺物や柱穴等を確認しています。今回の調査では、地表より約1m下で遺構を発見しました。

**遺構** 柱穴や土坑などを確認しました。柱穴は多数みつかっており、なかには直径80cmを測るものもあります。この中心には腐って土壌化した柱根跡が認められました。

**遺物** 柱穴からは弥生土器が少量、破片で出土しました。土坑からは古墳時代の土師器とともに管玉2点が見つかりました。

**まとめ** 調査地において遺構面は南東に低く、丸山のある北方向に高くなる地形であることがわかりました。周辺の調査成果と照らし合わせると遺跡は地形が高くなる北に広がっていると考えられます。

(三澤繁忠)



写真1 調査地全景



写真2 柱穴検出状況